

## 第 34 回母乳育児シンポジウム (8/29.30 日) 一般演題を募集します

第 34 回母乳育児シンポジウムは 2026 年 8 月 29 日(土)、30 日(日)に大阪市の「大阪中央公会堂」で開催されます。一般演題を募集します。締め切りは 5 月 10 日です。多くの方の応募をお待ちしています。

### 一般演題の応募要項について

1) 応募は会員なら、どなたでも応募できます。共同演者も会員の資格が必要です。未会員の方は入会をお願いいたします。

2) 応募原稿は 600 字から 800 字にまとめてください。字数は 800 字を超えないようしてください。毎年字数が大幅に超える方がおります。これらは受け付けられませんので、ご注意ください。

3) [演題名]：短く、内容がよくわかるように、そして参加者が聞きたいな—といった演題名で、お願いします。「当院の母乳育児の取り組み」とか「母乳育児推進にむけて」などというタイトルが多いのですが、これですと、皆同じになってしまいます。内容が分かるタイトルにしてください。

[施設名、所属名]：現在無所属の方は、元何々施設と書いてください。

[共同発表者]：発表者には、○印を付けてください。

[目的]：何故、どのような目的で、何の理由でこの研究をするのかをお書き下さい。

[対象と方法]：どのような母子を対象に、どのような事を調査したのか、アンケート調査したのかを具体的な項目も一部入れながら概略をお書き願います。

[結果]：どのような母子を対象に、何を調査した、その結果は何例中で、何例が陽性であった、などと主たる結果を書いてください。名前には必ず、フリカナをつけてください。

[考察]：今回の結果は、これまでの報告とどこが違うのか、それは、どのような理由によるのか、過去にはこのような研究はない、独自性などを書いてください。

[結論]：今回の結果から何がいえるのか、または推奨できるかななどを明確に書いてください。強調したい点は、何かを明らかにして下さい。

\* 作成での注意：母児同室は母子同室に統一。

母乳栄養と母乳育児の使い方にも注意してください。

完全、早期母子同室などでは、簡単な説明もいれてください。

4) 応募は E-mail で送ってください。

shiraishi.jun@ncvc.go.jp

折り返し受領メールをお送りします。

2 日経ってもメールが届かない場合は、事務局\*にメールでお問い合わせください。

・添付原稿はワードかテキストでお願いします。

・メールの本文と添付文書のファイル名に施設名・発表者・電話 (Fax) 番号を記入してください。  
両方に必ず、入れてください。

・メール送信の件名に自施設名を入れてください。

・名前には 必ず、振り仮名をつけてください。毎年、振り仮名のない方がおります。必ずお願いします。

## ●メールの送り方

第34回母乳育児シンポジウム一般演題応募 - メッセージ (HTML)

ファイル メッセージ 挿入 オプション 書式設定 校閲 開発 ヘルプ Acrobat 何をしますか

切り取り 貼り付け コピー 書式のコピー/貼り付け クリップボード

宛先(T) shiraishi.jun@ncvc.go.jp

送信(S) CC(C)

名前 挿入

件名(U) 第34回母乳育児シンポジウム一般演題応募 ○○病院 大阪花子

第 34 回母乳育児シンポジウム一般演題応募

- 1) タイトル 例「出産直後からの頻回授乳について」
- 2) 所 属 ○○病院 ○○科
- 3) 名 前 大阪 中子(おおさか なかこ)必ず、フリガナを入れてください
- 4) 施設住所 〒 \_\_\_\_\_
- 5) 電 話 \_\_\_\_\_ FAX \_\_\_\_\_
- 6) E-mail \_\_\_\_\_

5) 採用の可否等は、6月10日までに、お知らせいたします。

6) 一般演題で口演採用された場合もポスター掲示をしていただきますので、両方のご準備をしてください。

発表は5～7分。スライドは5枚以内。PC使用となります。詳細は後ほど送ります。

7) 口演が不採用の場合はポスターのみの採用になることがあります。

8) ポスターの大きさなどは、決定後、お知らせいたします。

9) 締め切りは、5月10日、厳守です。

10) 発表は会員とされています。共同演者も会員です。事前に会員になってから応募ください。

・6月10日までに採用可否のメールが届かない場合は事務局\*に、ご連絡ください。

**一般演題送り先 メールアドレス [shiraishi.jun@ncvc.go.jp](mailto:shiraishi.jun@ncvc.go.jp)**

BFH認定を目指す施設は、シンポジウムでの発表は義務つけられていますので、ご応募ください。

お問い合わせ：事務局\*メールアドレス office9281@jbabf.or.jp

